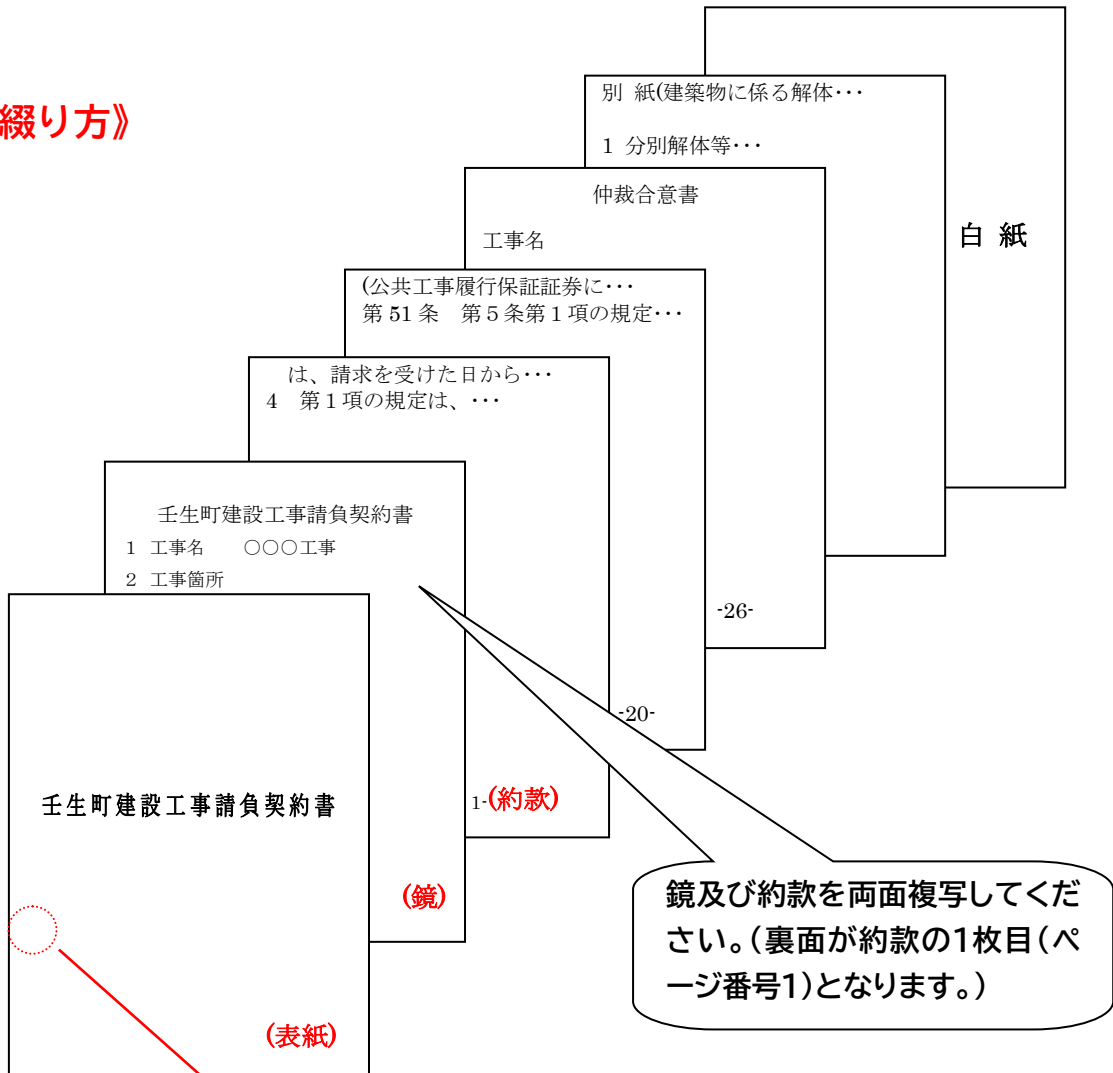


壬生町建設工事請負契約書作成要領

- 1 表紙を除き、「鏡」、「約款」及び「仲裁合意書」までを両面複写する。
- 2 「分別解体等の方法」を両面複写する。
- 3 最後に白紙を付けて正本し“袋とじ”をする。

《綴り方》



※ 本契約書中の記載事項(工事名、請負者名等)は、直接入力しても差し支えありません。

袋とじをし、表裏に割印をする。

《契約書鏡記入上の注意点》

- 1 請負代金額には、“金”を入れる。 (例) 金1,000,000円
- 2 非課税事業者の場合は(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円)の欄は未記入とする。

捨 印	壬生町建設工事請負契約書	収入印紙
1. 工事名	○○○○○○○○○工事	※1～3について、該当がない場合は項目ごと削除し、次の項目の番号を繰り上げて記載してください。 (例)4. 工事を施工しない日を削除する場合、5. 請負代金を4. 請負代金に繰り上げる。
2. 工事箇所	壬生町大字○○○地内	
3. 工期		
4. 工事を施工しない日		
工事を施工しない時間帯	※1	
5. 請負代金	金○○、○○○、○○○円	
6. 契約保証金	円	
↑		
契約保証金について、次のとおり記入してください。		
・500万円未満の工事： 免除		
・現金のとき : 金○○、○○○、○○○円		
・有価証券のとき : 担保(有価証券の提供)		
・銀行、保証会社の保証書のとき: 担保(銀行等の保証)		
7. 建設発生土の搬出先等	設計図書に定めるとおり	※2
8. 解体工事に要する費用等	別紙のとおり	※1
9. 住宅建設瑕疵担保責任保険		※3
以下略		

※1 該当しない場合は削除又は省略可

※2 この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)の規程により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。(該当しない場合は削除又は省略可)

※3 特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律(平成19年法律第66号)第2条第4項に規定する特定住宅瑕疵担保責任を履行するため、住宅建設瑕疵担保責任保険に加入する場合は、(1)保険法人の名称、(2)保険金額、(3)保険期間についてそれぞれ記入する。なお、住宅建設瑕疵担保保証金の供託を行う場合は、受注者は、供託所の所在地及び名称、共同請負の場合のそれぞれの建設瑕疵負担割合を記載した書面を発注者に交付し、説明しなければならない。(該当しない場合は削除又は省略可)

3 約 款

500万円未満の工事

条文削除のため、各々上部余白に記載し訂正印のこと

- P. 2 第5条削除
P. 15 第36条削除
P. 17 第39条削除
P. 18 第41条及び第42条削除 } ※債務負担行為及び継続費対象工事で
P. 19 第43条削除 } ない場合
P. 29 管轄審査会名 栃木県 建設工事紛争審査会
※ 大臣許可業者は 中央 建設工事審査会

500万円以上の工事

条文削除のため、各々上部余白部分に記載して訂正印のこと

- P. 15 第36条削除 ※前金払・中間前金払を請求しない場合
P. 15 第36条第3項及び第4項削除 ※中間前金払を請求しない場合又は
部分払を選択した場合
P. 17 第39条削除 ※部分払を請求しない場合
又は中間前金払を選択した場合（単年度工事）
P. 18 第41条及び第42条削除 } ※債務負担行為及び継続費対象工事で
P. 19 第43条削除 } ない場合
P. 29 管轄審査会名 栃木県 建設工事紛争審査会
※ 大臣許可業者は 中央 建設工事紛争審査会

4 仲裁合意書以降に添付するリサイクル法関係様式（別紙）は該当する様式のみを添付してください。

《その他注意点》

1 印紙税額は、消費税を含まない額（落札額） に対しての税額となりますので注意してください。